



# 『東北圏だより』

## 防災公共の推進について

### 青森県

青森県では、災害時に命を守るため「防災公共」という県独自の取組を実施しています。この取組では、集落を対象に寸断すると孤立する恐れがある道路や、地域の实情に合った避難経路、避難場所について、市町村と検討を重ね、これらの区域に係る危険箇所を抽出し、必要な施策を「防災公共推進計画」にとりまとめました。現在は、庁内の各担当課が力を合わせて対象となる危険箇所対策事業などの施策を実施しているところです。

「防災公共」は、「孤立集落をつくらない」という視点と「逃げる」という発想を重視した、防災対策と危機管理体制の強化など、ハード・ソフト一体となった取組となっており、地震津波対策の強化や中山間地域・沿岸地域等の孤立集落への対応を掲げる東北圏広域地方計画の趣旨に合致する事業と考えていますので、この事業の概要を簡単にご紹介します。

防災公共の調査では、孤立する恐れがある集落が県内に145地区あることが分かっています。孤立集落の発生を防ぐため、且つ最適な避難場所と避難経路を確保するために必要な施策は、県と市町村を合わせて438箇所あり、このうち県が20箇所、市町村が2箇所完了しております。さらに、現在事業中となっている施策は64箇所となっており、完了箇所を含めて約2割の施策について対応が図られています。しかし、残っている施策の中には用地や事業採択上の問題もあることから、まずは市町村の意見を反映するなどして、着手可能な施策について、効果が早期に発現されるよう関係部局が横断的に連携し取組んでいきたいと考えております。

防災公共は減災に着目した取組でありますので実質的な効果は見えづらいものですが、この防災公共を取組むきっかけとなった東日本大震災や、今年の4月14日に発生した熊本地震を見ましても、避難途中の被災や避難場所・避難経路の被災によって避難できない事例が発生しており、こういった事例を防ぐ重要な取組であると改めて再認識したところです。これからも、災害から県民の命を守るため、より一層、「防災公共」を推進していきます。

また、避難所へ避難しても救援物資が届かず、避難者の生命・生活が脅かされるといった課題もあることから、「防災公共」に続く新たな取組として、集積所と避難所を各種輸送モードで結ぶネットワークを形成し、防災強化を図る「防災物流インフラ強化計画」の策定についても検討を始めております。



青森県 深浦町 岩崎地区



風間浦村 焼山崎 (国道279号線)  
蛇浦地区集落の孤立を解消する5箇所の施策のうちの1箇所を完了

むつ市 釣屋浜 二枚橋区域  
公民館(最寄りの避難所)までの避難経路が確保

※防災公共推進計画は、青森県のホームページ <http://www.pref.aomori.lg.jp/kotsu/build/bousaikoukyo.html> に掲載しています。

※平成25年5月の『東北圏だより 第36号』でも防災公共を紹介しております。

→<http://www.thr.mlit.go.jp/kokudo/pdf/dayori/dayori36.pdf>

## 都市景観大賞において、東北地方から4団体が受賞されました

東北地方整備局

都市景観大賞（主催：「都市景観の日」実行委員会）は、良好な景観形成に向けた取組の普及啓発活動の一環として、毎年実施されている表彰制度であり、公共的空間と建物等が一体となって良質で優れた都市景観が形成され、市民に十分に活用されている地区を対象にした「都市空間部門」と、小中学校等における景観まちづくり教育、まち歩きや景観に関するセミナーなど、景観に関する教育、意識啓発、知識の普及等に取り組んでいる活動を対象にした「景観まちづくり活動・教育部門※」の2部門で実施されています。

（※H27年度までの「景観教育・普及啓発部門」と「景観づくり活動部門」を統合し、今年度新たに設けられた部門です。）

本年度は、全国各地からの応募の中から、「景観まちづくり活動・教育部門」では、喜多方市の「南町2850プロジェクト～小田付地区空き家・空き地の再生」（会津北方小田付郷町衆会、福島県立喜多方桐桜高等学校 他）が大賞（国土交通大臣賞）を受賞しました。

6月10日に東京都文京区のすまい・るホールで行われた「まちづくりと景観を考える全国大会」の中で表彰式が執り行われ、代表の会津北方小田付郷町衆会の郷頭の伊関総様に、石井国土交通大臣から表彰状が授与されました。

続いての「事例発表」において、喜多方桐桜高校エリアマネジメント科の4名から、震災で被災した蔵の修復等、取組みについての紹介がありました。



▲喜多方桐桜高校エリアマネジメント科3年生38名、1年生39名との「芝生ワークショップ」の開催の様子。



▲石井国土交通大臣より、会津北方小田付郷町衆会郷頭の伊関様へ表彰状が授与されました。



▲喜多方桐桜高校エリアマネジメント科の4名から、これまでの取組みについての報告がありました。

また、山形県川西町の「高校生と共に進めるイザベラ・バードの古道復元活動」（諏訪峠古道保存会）と福島県いわき市の「まちづくり総合学習」（いわき市立久之浜第一小学校、久之浜大久地区まちづくりサポートチーム）が優秀賞（公益財団法人都市づくりパブリックデザインセンター理事長賞）を受賞しました。



【高校生と共に進めるイザベラ・バードの古道復元活動】  
▲次世代継承事業として、地元農業高校生ガイドの養成講座を開講。



【まちづくり総合学習】  
▲ファシリテーター（サポートチーム&地元の方）と共にアイデアを出し合うこともたち。

「都市空間部門」では、石巻市の「新蛇田地区」（石巻市）が特別賞（公益財団法人都市づくりパブリックデザインセンター理事長賞）を受賞しました。



【石巻市・新蛇田地区】  
▲高圧線下の土地の公共用地（歩行者専用道路）として利用した四季の並木道



【石巻市・新蛇田地区】  
▲1号公園の湧水の池より南北に設けた「せせらぎ」による『水辺空間』

これからも、東北各地の素晴らしい都市景観や景観まちづくりが全国に発信されていくように、皆様の取り組みを支援していくこととしております。

去る6月29日（水）に第30回東北圏広域地方計画協議会検討会議幹事会が開催されました。今回の幹事会の主な議事内容は、「シンポジウムの開催について」と「計画の推進体制について」でした。

まず、シンポジウムの開催について、事務局案の説明を行い、各構成機関から了承いただきました。

次に、計画の推進体制（推進PT（プロジェクトチーム））について、事務局案の説明を行い、今後も引き続き各構成機関と協力しながら検討を行っていくこととしました。

今後も、各構成機関の皆様からのご提案やご協力を引き続きよろしくお願いいたします。



▲幹事会の様子

### 人事異動

6月21日付け、東北圏広域地方計画推進室の人事異動がありましたので、お知らせします。

（新室長）安田 吾郎（やすだ ごろう） 関東地方整備局 企画部長 より  
（前室長）桑原 徹郎（くわばら てつろう） 大臣官房付・即日辞職

7月 1日付け、東北圏広域地方計画推進室の人事異動がありましたので、お知らせします。

（新副室長）伊藤 祐二（いとう ゆうじ） 東北運輸局 観光部 次長 より

### 編集後記

最近寒暖の差が激しいですが、皆様体調管理は万全でしょうか。本格的な梅雨の時期に入りましたが、災害が発生しやすい時期ですので、情報収集に努め、万全の体制で乗り切っていきましょう。

『東北圏だより』に掲載する広域地方計画に関連する情報をお寄せ下さい。また、『東北圏だより』へのご質問、ご意見、ご要望等についても結構です。お気軽に次のアドレスまでメールでお寄せ下さい。メールアドレス：kou-suishin2@thr.mlit.go.jp